

バス学習自新聞

啓西小学校 5年2組
田口千陽

の解体道具



私は、八月二十八日にエルバ北海道に見学に行きました。機械でこのような

私は、帯広美術館で行れた「チームラポレ」というイベントに行きました。そこには光るすべり台

光の芸術

形が消えるけんけんや、丸や三角などの

ことができないのか調べに行きました。その機械は、シュレックタープラントとい

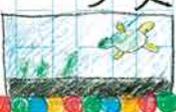
↑反転機の写真
い、車を解体する時に下にもぐらなくてもいいように、車をつかんで半回転で丸や三角などの

きる機械です。他にもたくさん機械がありました。

他に車のリサイクルについても調べました。エルバ北海道では車の約九十五パーセント以上をリサイクルしていてリサイクルパーツを倉庫

新聞を作る機械は？

北海道新聞印刷所では、機械がどんなことをしているのなのがたくさんあります。べに残ったことは紙に書いたカメラがスクリーンにうつったことです。



巻取紙は印刷する前の紙のことでロールになっていています。そのロールの重さは一トンです。巻取紙を保管している所を紙庫とい

に約二万五千点保管しています。このエ

調べました。その機械はADSとい、巻取紙というトンの紙を運ぶロボットです。他には輪転機という、印刷する機械があり、印刷するスピードは時速四十キロです。

新聞の巻取紙とリサイクル

巻取紙を動かしやすいようにゆかかなめになっ、ています。中には巻取紙が約九十六本入、ていて帯広市の三〜四日分の紙の量です。工場は車の解体やリサイクルをしています。

この工場には、三種の機械や、工場の構造に工夫があつておもしろまりました。



↑ 輪転機の写真